

しいたけ普及指導情報 第11号

9月上旬に第4回原木しいたけ生産者大会が静岡で開催され、参加してきました。クヌギ原木も豊富にあり、温暖で、作業地も比較的緩やかな「大分は他県に比べしいたけ栽培に適しているんだな。」と改めて感じてきたところです。暑かった夏も終わり、しいたけの新たなシーズンがはじまりまります。

1 単収向上

(1) ほだ化時の水分管理

今年は、別府市・杵築市・日出町で定点(16点)をとらせていただき、定期的に調査をさせていただきました。調査は活着時(5月中旬)、梅雨時期(6月下旬)、梅雨明け(7月下旬、9月中旬)の概ね4回調査をさせていただきました。

総じて、今年は皆さんご存じのとおり4、5、6月に十分な降雨があったことから概ね良好な活着・伸長だと思われまます。

ア 菌糸の周りが早かったものの一例

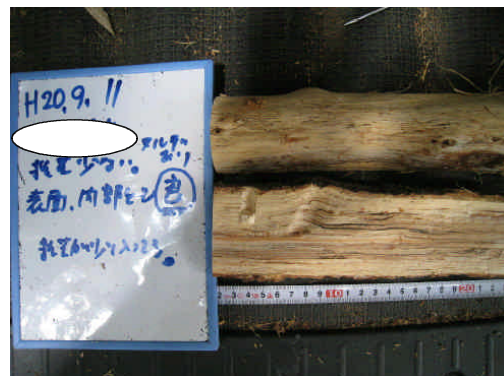
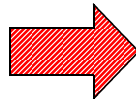
・・・杵築市内 標高440m 南東向き緩斜面 笠木
【5、6月】

菌指紋がはっきりでており活着も非常に良好でした。

コレ【8月8日】

本サンプルは直径8cm程度で小さめですが、既に表面は蔓延していました。水抜けも順調に進んでいるように見受けられました。

笠木はしっかりかかっているようでしたが、若干シトネタケの進入が見られました。それ以外の雑菌は見られませんでした。



【9月11日】コレ

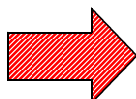
上部に一部ヌルデタケが見られましたが、乾性害菌であり、それほど気になるものではありません。内部への菌糸伸長も十分あり順調なほだ化が期待できます。

しいたけ臭がブンブンしています。

イ 菌糸の活着不良があったもの、伸長が遅れぎみのものの一例

・・・杵築市 標高300m 東向き平地 寒冷紗
コレ【7月28日】

はっきりした原因はわかりませんが、不活着がありました。原因としては、玉切後から植菌までの間隔が空きすぎて原木が過乾燥気味になったこと、植菌時期(5月下旬)が遅くなってしまったこと、寒冷紗のため降雨を受けにくかったのか等の原因が考えられました。



【9月24日】コレ

菌糸は活着、伸長はしています。しかし、しいたけ臭が非常に薄く感じました。総じて初期の活着不良・遅れが原因と見られ、初期の水分管理の必要性を感じました。

ウ その他

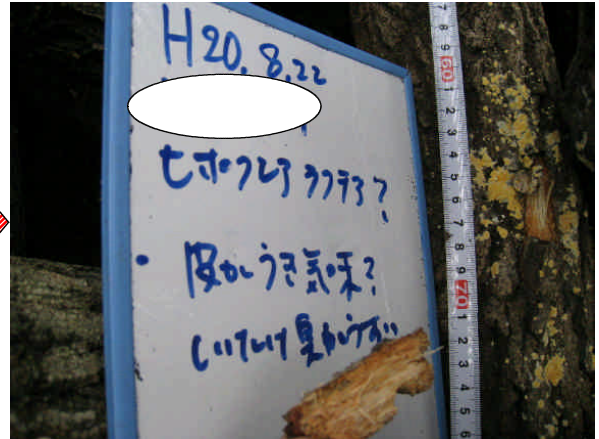
8月中下旬にヒポクレア・ラクテアの被害が確認（2カ所）されました。
 これは、高温・多湿環境下で発生しやすい、しいたけ菌を殺す害菌です。被害木を見つけたら、たとえ僅かでも隔離し激害ほだ木は焼却してください。
 被害ほだ木から伸長したラクテア菌糸が地面に堆積した落ち葉や腐植の中を蔓延することにより離れた健全なほだ木にも被害が及ぶ場合もあります。
 予防策は、風通しを良くし、高温多湿を避けること。（蒸れを防ぐ）伏せ込み場を見回り被害発生を初期段階で見つけることです。

発生初期・・・鮮やかなクリーム色



(H20.8.19 時点)

3日後には黄色が濃くなりました。



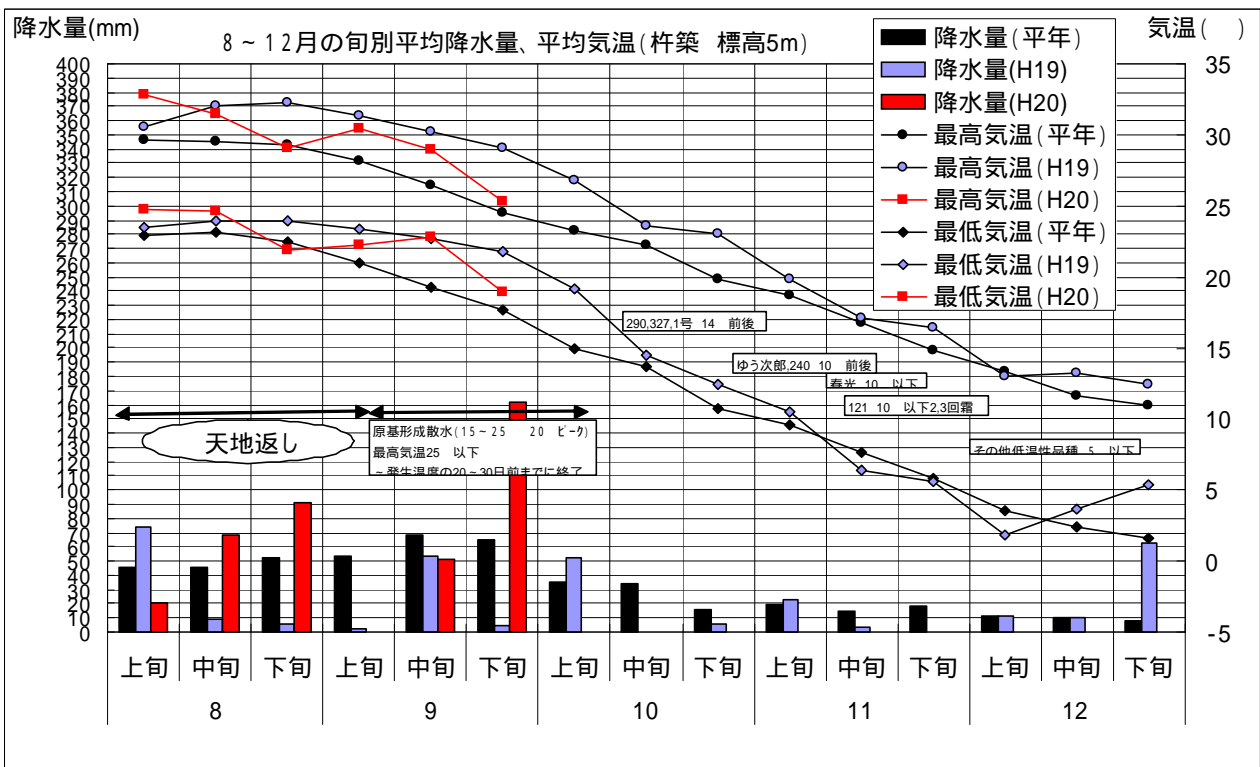
(H20.8.22 時点)

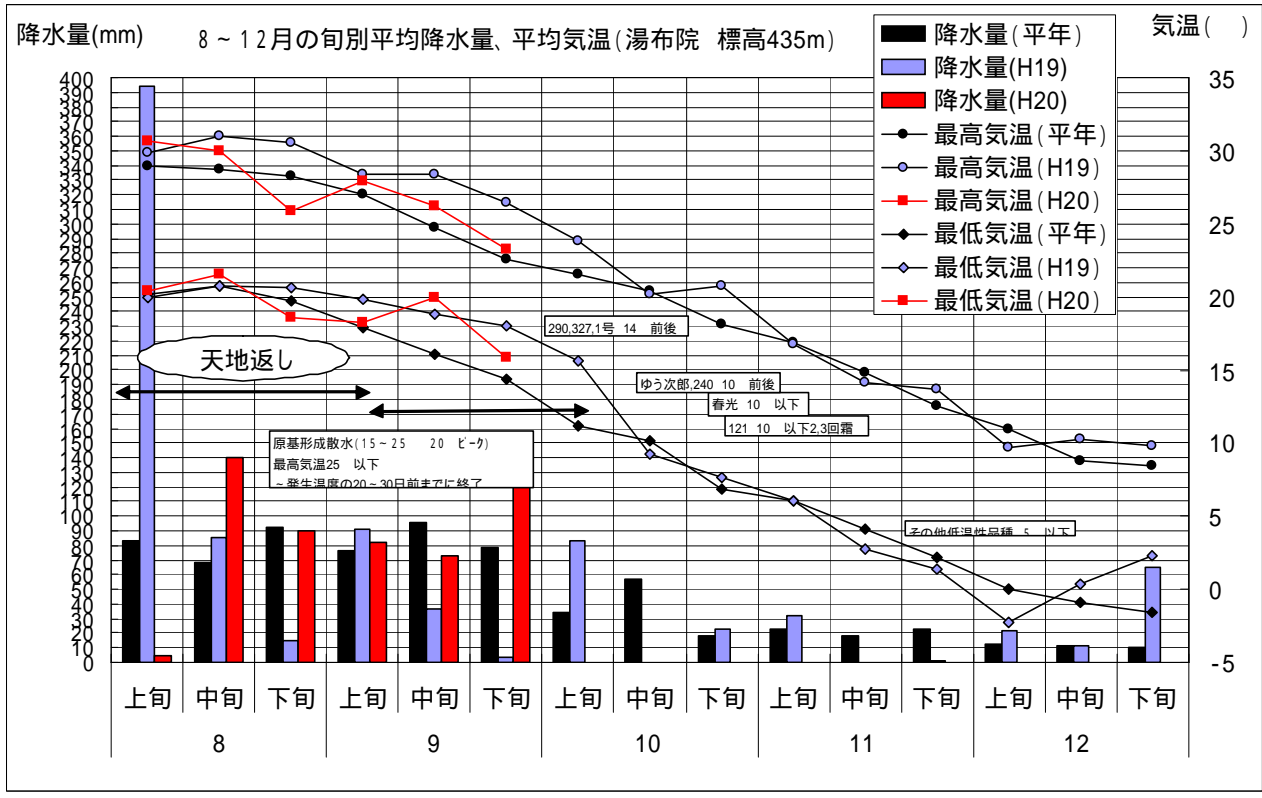
(2) 発生時の水分管理

そろそろ森290, 菌興327、セッコー11号等のほだ起し時期を迎えます。

今年は9月の下旬に台風等に伴う降雨があったことから、菌糸の活力回復 (= 原基形成) のための水分補給は十分あったと思われます。(下グラフ参照)

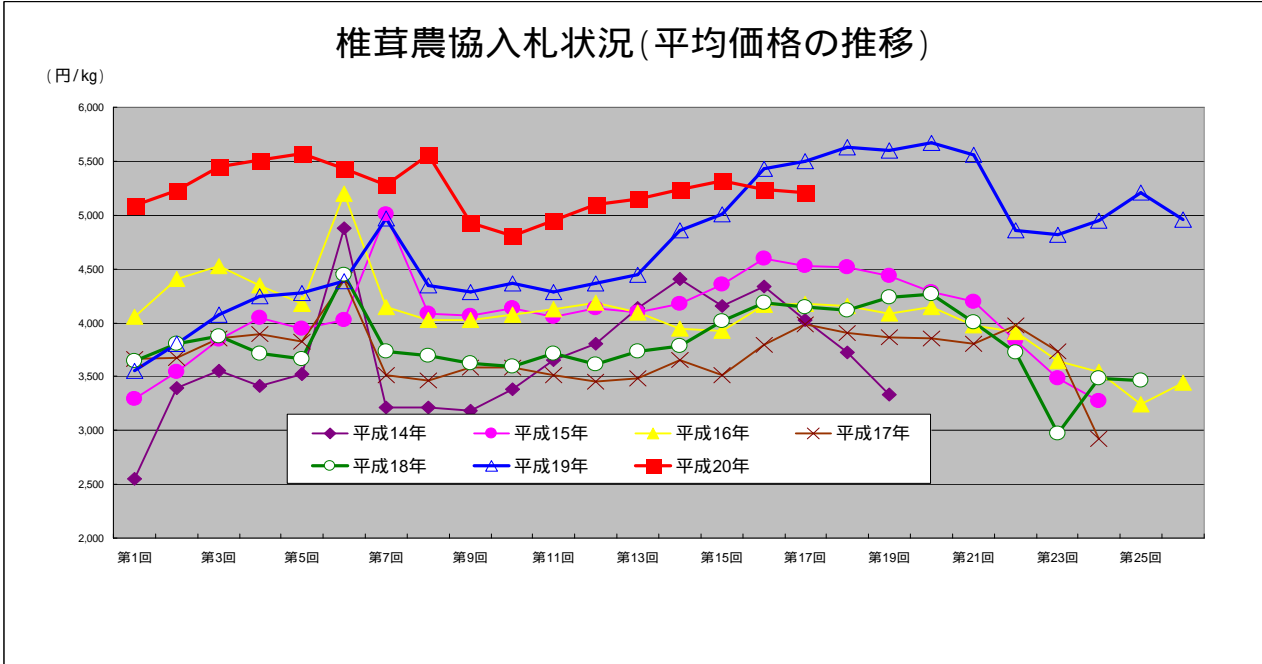
今後は品種に応じた発生操作 (ほだ起しのタイミング、散水・ほだ倒し・ほだ叩き・鉋目入等) により秋子をしっかりとっていただきたいと思ひます。(下グラフ参照)





2 単価向上

OSK入札状況は、下記のとおりです。



3 量拡大(維持)

(1) 新規参入者について

本年度東部局管内から新規参入者研修に6名の方が参加されています。また、第4期の源兵衛塾に12名の方が入塾されました。

- 皆さんが儲かるためのバックアップ ご利用窓口 -

大分県東部振興局生産流通部
 野菜・椎茸班 担当 栗林(国東市エリア)
 河野(別府市・杵築市・日出町エリア)
 0978-72-1141 FAX0978-72-1242